**取　組　事　例**

**（朝型の働き方・所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・テレワーク ）**

|  |  |
| --- | --- |
| **企業名 ： ジョンソン株式会社** | **所在地 ： 神奈川県横浜市** |
| **社員数 ： 約１２０名** | **業　種 ：家庭用洗剤等の販売** |

**取組の目的：**

「Great Place to Work（働きがいのある職場）」を目指し、「テレワークの実施、フレックスタイム制の工夫、積立て年休制度」などの社員の勤務環境の改善に取り組む。

**取組の概要：**

**○テレワークの実施**

　　主に本社事務所に通勤する営業職以外の職種のうち約８割が、週１回、テレワークを実施している（※必要に応じてパソコンを用いたオンライン会議による打合せも実施。）。

　　テレワークは現在週１回に限られているが、労働者側のニーズが高いこと、またこれまでの実績から特に業務遂行に大きな支障も生じていないことから、可能であれば更にテレワークを増やすことも検討中である。

**○フレックスタイム制の工夫**

フレックスタイム制のコアタイムは、月～木までは11～15時としているが、金曜日は11～12時の１時間だけに限定しており、昼までの勤務のみで退社できる仕組みとしている。

**○積立て有給休暇制度**

２年間の時効により消滅した年次有給休暇のうち、１年当たり５日を限度として、最大50日まで積立てられる制度（※年休の当年分と繰り越し分と合わせて最大90日。）。

原則として年休は消化しきることを前提としているが、一方で、各人のライフスタイルの中で長期間の休みが必要となる事態も想定され、そのような場面に対応できる制度（※例えば、急遽介護を行う必要が生じた場合に、休職又は退職することなく長期間休むことが可能。）として、本制度を設けている。

**現状とこれまでの取組の効果：**

○ 対象労働者約50名のうち、約40人がテレワークを活用。

○本社事務所に通勤する営業職以外の職員のうち約40名が、フレックスタイム制を活用。

（H27.9）